

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

好きだった作品のキャラに似た孤児がいたから拾って育ててみた結果

目次

冗談半分で集め育てた眷属がとんでもないことになった件	1
冗談半分で集め育てた眷属がとんでもないことになった件	2
	13

件 冗談半分で集め育てた眷属がとんでもないことになった

○月S日

転生した記念に日記をつけることにした

所謂神様転生でこれまたテンプレの王ゲイト・オブ・バビロンの財宝とか色々貰って転生した

実はこの日記も王ゲイト・オブ・バビロンの財宝の中にあつた脳内日記の原点とかいう、え？ナニコレ？つて言いたくなる様なブツである。王ゲイト・オブ・バビロンの財宝さんマジパネエッス

○月#日

転生？憑依？してから幾日かたつたが、自分の立場はそこそこのいい家の坊っちゃんらしい

今の体は3歳位みたいなのだが毎日マナーやら家の歴史やら魔法やら色々勉強させられている

両親とは食事以外ほとんど会わず、家庭教師の発言から兄がいるらしいが首都の学園

に行ってるらしく会ったことがない

首都の名前を何処かで聞いたことがある気がするんだが何処だったか
あと種族は人間じゃなくて悪魔でフェニックスらしい

○月△日

今日も今日とてお勉強の日々である

まだ幼いからか屋敷から出して貰えずどうも精神的に鬱々してくる。多分肉体的疲
労より精神的疲労の方が大きいからだとは思うが

そんな時に取り出したるはこの道具、オーバーワークにならない程度に肉体に負荷を
掛けつつ骨格や筋肉を矯正し理想的な肉体に仕上げるマッスイーン（擲揄）である

え？普通に運動？しない shouldn't, だって屋敷の中だし一応お付きの使用人がいるから
何より俺は面倒臭がり屋だからね！（逼真）

追加で魔力を自身の生成量よりちよつと上回る量を吸収し貯蔵する道具を使い魔力
式筋トレを試してみる

後は寝てる間に体調を完全回復させる道具を使えばパーフェクツ

ゲート・オブ・パベロン
王の財宝さんマジパネエッス！
ゲート・オブ・パベロン
王の財宝さんマジパネエッス!!

大事なことなので2回書きました

○月○日

爽快な目覚めである、マジサイツコーだね！

朝の気分が違うだけでやっぱり色々違うね

今なら例えば食後の楽しみに買っていたプリンが知らない人に目の前で食べられていても許せる気がする

生前は休日平日関係なく寝るのが遅くても疲れきっていても朝早く決まった時間に目覚ましがなくても起きてしまう状態だったからこんなに爽快なのは何時ぶりだろうか

&月◆日

6歳位になってしばらく、私家を追い出されました

いや正確には隔離が正しいか？

朝起きるなり呼び出されて執事と転移↓「今日からお前の住む場所ココだから（意

訳) ↓執事転移で帰還の3連コンボである

最低限ここでどういう生活をすればいいか位説明してから行けやコラ

※主人公が隔離されたのは魔力式筋トレのせいだ他人からはほとんど主人公の魔力を感じ取ることが出来ないから。つまり貴族の面子と主人公のせい

&月・日

今住んでいるのは家である。そう、屋敷ではなく家である

元々庶民である自分としては屋敷に多少慣れてきていたとはいえこつちの方が落ち着くので助かるといえば助かるが

先日朝食も食べることが出来ずにここに連れてこられた自分はとりあえず嗅覚の赴くままに家を探索した

そしてリビングに着くとテーブルの上で芳しい匂いを内包する湯気が立ち昇る料理と、その奥に母性豊かな使用人がいた。ライコーさんというらしい

ライコーさん曰く、この家の維持管理と俺の身の回りの世話と教育が彼女の仕事らしい。一人でこなせるライコーさんマジハイスベック

うーん、なんだろうかこの既視感。彼女の姿がなんとなく誰かと被るような被らな

いような。

ライコーさん、一人でも風呂には入れるので付いてこなくても大丈夫ですから、いえ遠慮とかではなくてですって、あつ、やめつ

%月♪日

本日のお勉強が終わり今日は外に出てみる

家の中は一通り見て回ったが空き部屋が多くて、なんか家の規模というか明らかに家の外観から見て納まらない規模の書斎があったのが特徴と言ったら特徴か。ライコーさんに聞いてみたら書斎は魔法で拡張されてるらしい。魔法パないの

家の外に出てみたが庭はそこまで広くなかった（貴族基準）

ライコーさんから塀の外に出てはいけないと注意を受けていたが明らかに子供どころか大人すら乗り越えられる高さじゃない上に、門も格子状ではなく金属製のまんま扉型だし見た感じ外開きのよね

これで外に門とかあつたらガチの隔離施設じゃないですかヤダー※あります

〇月〇日

今日も今日とてお勉強である。前もこんな出だしで書いたことがある気がするが気にはすまい

ところで本日からライコーさん監修のもと戦闘訓練が始まるらしい

なんで急にと思いライコーさんに聞いてみたところ「体術はともかく体自体はそれなりに鍛えているようですし」と言われた

なんでバレたし。そんな感情が顔に出たのか「母は我が子のことは何でもわかるのですよ」と慈愛の表情を浮かべながら言われた

いやアンタの子供じゃねえし、とか思いもしたがそれより今まで彼女に抱いていた既視感の正体の方が衝撃的でツツコミ所じやなかった

ライコーって頼光らいこうかよ！そりゃ二次元から三次元なったら普通に考えて気付かないよね！！

その事が頭から離れず訓練に集中出来なかったせいでライコーさんに転がされまくった

〇月〇日

集中してるしてないとかの問題じゃなかった

昨日の惨事を見てまずは基本からだと今日も転がされまくってる

え？ライコーさんらいこう頼光さん疑惑？気にしてもどうにもならないから気にしないことにしたよ

とりあえず今やってるのは受け身の練習らしいのだが、どんな状況でも受け身を取れるようにと手本↓実践↓指導↓実践↓指導を延々と繰り返してる

フェニックスということで多少厳しくしても大丈夫だろうという判断のもとスパルタ気味にいくらしい

うぼあ

×月×日

今日は訓練用の異空間に連れてこられた。一度全力を出してみたいらしい

そう言うのは最初の方でやるんじゃないのかなーって思ったらライコーさんは物理は大抵何でもいけるが、逆に魔法系は苦手で今まで時間がかかったらしい

とりあえず道具で調べてた感じではライコーさんは家の紐付きという訳じゃないみたいだし、むしろ隔離することに反対したせいで一緒に隔離というか左遷されたみたい

なので信用は出来ると思うんだ

なので見たことは内緒という約束をして全力を出した

一瞬で異空間が崩壊しそれを見たライコーさんは泣き崩れた。全力で慰めた

※現時点の主人公とライコーさんの大雑把な強さ表

初期リアス≦主人公へ初期ライザーへコカビエルへライコーさんへ主人公（転生特典全使用（使いこなせてない）へレヴィアたんへ越えられるかもしれない壁へ我が子の為に全力全壊のライコーさんへへ越えてはいけない壁へへミルたん

?月∴日

代わり映えしない毎日

あんまり日記に書くことがなくなってきた

?月∴日

うっただしろう

?月∞日

ちよつと持ち直した

正直あまり思い出したくないけど一応先日の出来事をぼかして書いておく

体が少し大人になった証を朝起こしに来たライコーさんに見られて極めてマイルドな伊○ライフとかひ○ま屋的な展開になった

流された俺が言うのもなんだけど悪魔ってどういう倫理観をしてるんですかねえ

?月∨日

やっぱり前世魔法使いだった自分には刺激が強すぎたらしく、ライコーさんの顔をまともに見れない上に顔が赤くなってるのが自分でもよく分かる

お願いですから微笑ましい物を見る目でこつちを見るのやめて貰えませんかねえ

#月Ψ日

この家に来てから10年位たったある日、久しぶりに本邸に連れてこられた

なんかいたこつちを見下した目で見て罵倒してくるチビツ子を受け流しつつ待っている。と例の執事がやってきた

もう両親は顔を見せるつもりもないらしい。まだ衣食住に困らない生活が出来るだけ情があると思えるべきだろうか？それとも体面のためか

そして執事は手に持ったアタツシユケースを俺に渡して来て「これを使い眷属を作れ」という父からの伝言を残し直ぐに去っていった。チビツ子は執事に付いていった

とりあえずアタツシユケースの中の物が関係するらしいので中身を確認する。中に入っていたのはキングを抜いた15個のチェスの駒だった

ここハイスクールD×Dの世界かよ!!



目の前のモニターを見ながら頭を回す

地形、ルール、相手の情報、有効に使えらるであろう戦術、全てを脳に叩き込み勝利への算段を積み上げていく

「しつかし、ルーキーのフェニックスにフェニックスを当てるとは、上は何を考えてるのやら」

どうせ宗家による分家への格付けとかそこらへんだろう

なにせ向こうは兄二人より経験は浅くともレーティングゲームで台本が用意されていたと思われる試合以外は全て勝っているのに対し、こちらは向こうより長く生きてるとはいえルーキーで実績なし、更に言えば一族始まって以来の無能だ

おまけに両者共に悪魔の駒は全て使用済みで女性ばかり15人

これでレーティングゲームをしようって言うのだから武力という一点に於いてこれ以上に分かりやすい格付け方法はほとんどないだろう

「向こうに切り札が無ければ勝率は初戦云々を換算して低く見積もって9割、見せ札を使えば確勝、伏せ札で蹂躪だろう」

切り札や鬼札ジョーカーを使うまでもない

それにしても今回のレーティングゲームにおいて向こうからの指示はなし、台本も用意されていない。完全にこちらを舐めている証拠だ

まあ台本がないのなら丁度いい、その油断、慢心、自信、思惑、全部まとめて

「――打ち砕いてやる」

冗談半分で集め育てた眷属がとんでもないことになった 件 2

#月曜日

とりあえず家に帰って早速ライコーさんに女王になることを打診してみる。快く了承して貰いいざ眷属に、と思ったが悪魔の駒が反応しない

ライコーさん曰く、過去にも自分に眷属になつて欲しいという話がきたことは何回かあったのだが、尽く悪魔の駒はおろか変異の駒すら反応することはなかったらしい。そう少し悲しそうな顔で言われた

正直申し訳なく思ったが同時に、ライコーさんの能力の高さに戦慄した
この人もしかして転生特典全部使った俺より強いんじゃないやね？※強いです

△月曜日

なんかライコーさんが困つてたからどうしたのか聞いてみたら、家の方から「その家と周辺の土地はくれてやる、だから消耗品関係の援助はもう無しな（意識）」と言われた

らしい

援助を受ける方法もあるらしいがライコーさんが口ごもるあたりロクでもない条件なんだろう

ライコーさんの蓄えを使えば暫くは生活出来るから安心してくれと言われたがそれには領かない

恩人が困ってる時に只々それを傍受するのか？否ッ！今こそ男の見せ所である！！

幸いにもこんな状況にうってつけの転生特典もある。やってやりやああ！

転移する俺を制止しようとするライコーさんの声が聞こえるが、今回ばかりは止まらないぜ！

A月入日

とりあえず適当な都市に転移して治安の悪い地区で絡んできた（確信犯）連中を説得（物理）して慰謝料を頂き（強制）つつ目的地へ向かう

短期間に金を稼ぐ手段と言ったらやっぱりギャンブルでしょう！（力説）

そして宣言するのだ、俺は黄金率を持っているのだと

スロットマシーンにコインをシユウウウッ！（大当たりで）超エキサイティンツ！！

……出禁にされました

▲月10日

大金を手に入れ意気揚々と帰ると般若のスタンドを背負ったライコーさんが慈母の微笑みを浮かべ玄関の前に佇んでいた。なお、目は笑つてない模様

それから始まる耐久3時間説教コースwith正座スタイル

なにか辛いかってライコーさんが目に涙を浮かべながら自分が如何に心配したかとか俺が無事でよかったとか切々と語られるのを聞いているのが辛かった

もうずっと頭下げっぱなしだったよ。足の痺れ？気合いで我慢したさあ！

▲月三日

眠い。一睡も出来なかった

昨日説教のあと罰として夜一緒に寝るように言われた。俺の脳内ポル○レフ状態である

そして夜ライコーさんの宣言通り一緒に寝る事になったのだが、彼女の部屋の自分の

部屋のとは違う匂い、男と一緒に居るとは思えない無防備な寝顔、抱き付かれ感じる彼女の体温、背中当たると双子山のやわこい感触

もう理性と本能が大激闘だよ!!ヘタレ?好きに言えばいいさ!

多分俺が彼女を求めれば応えてくれるさ!でもライコーさんの俺を見る目が明らかに子供を見る母親の目なんだぞ?そんなライコーさんの信用を裏切る訳にはいk……はいなんでしようかライコーさん。え?今日も?(絶望)

■月+日

流石に大金とはいえギャンブルで得た資金だけで一生生きていける訳じゃないので、他の金策プランも進めていく。悪魔生つてとつても長いのよね

ライコーさんに普段の仕事で時間がかかったりちよつと大変だったりするものを教えて貰い、その作業を簡略、省力化出来る道具、術式を造っていく。戦闘能力の底上げだけじゃなくて、日常の役に立ち金儲けにも使える生産系チートってステキ

■月・日

ライコーさんの知人に商売関係に強い人が居るらしく、今回出来た物が売り物になるか品評してくれるらしい。ライコーさんはそのまま向こうで一泊しているそうだ

お陰で今日家に要るのは俺一人である。とはいえやりたい事がなかったでもないのでありがたいと言えばありがたい

各神話圏に行くために必要な書類を取り出し空白を埋めていく。と言っても行くのは表側の方である。せつかく何処に行っても言葉が通じるようになったんだから、いろんな所に行ってみたいと思うのは俺だけじゃない筈だ。それに一緒に住み始めてからほとんど働き通しのライコーさんに恩を返したいというのもある。一応眷属探して建前を用意したら同行してくれるだろう

あと他の今日したいことだが、正直性欲持て余す。今から街に行くぞヒヤッ
ハ—！

■月々日

帰って来たライコーさんが俺を見て何かに気付いたのか、しょうがないな〜という目で見られた。これかなり効くわー

例の商品サンプルはちよつと修正を加えて欲しいと簡単な図面と共に返って来た。

術式はそのまま買い取ってくれるらしい。あと向こうからこれこれといった物は作れないか、という依頼も来ている。チートを使えばそこまで時間も掛からないので何種類かサンプルを造っておこう。本当に生産系チートは便利である

る月×日

他神話勢力からの滞在許可証が届いた。栄えある最初に滞在が許可された国はまさかのイギリスである。何ゆえメシマズ国家最前線の滞在許可証が一番最初に来るのか（失礼）

あれ？よくよく考えたら香辛料とかの流通は前世に比べたらまだまだだろうから世界的に料理は発展途上？（愕然）※偏見です

し、仕方ない、ライコーさんと一緒に行く前に一人で行って現地調査せんと（震え声）

る月・日

イギリスなう。古いか？いや、むしろ早すぎるか

入国の時に出入国管理局の人（？）に愚痴られた。悪魔の一般人はともかく貴族は申

請も出さずに勝手に出入国する事が多いので色々困ってるらしい。おまけに勝手に現地人を悪魔にして連れ去ったりしてるので冥界政府に抗議をするのだが、上層部はほとんど暖簾に腕押し状態らしい。代わりに中間管理職辺りの人が謝りに来るそうだ。あのー、それ俺に言っただろうと？。ただの愚痴？あ、そう。いい加減にしろよ上層部エ

気を取り直してイギリス観光である

屋台っぽいの見付けた↓買って食った↓これはヒドイ（白目）。吐き出す訳にもいかず口の中に魔法で水を出し飲み下す。ついでに胃薬も飲むがこれはアカンわ

ゐ月㍶日

そこそこの価格帯の宿に泊まってみた。時代のこともあってクオリティは御察しである。飯？聞くな

今更だけど、大体観光資源になってる世界遺産だのなんなのって宗教とか神話が絡んでるからほとんど行けないのよねー。この当初の目的の計画倒れ感よ。ぶっちゃけ首都リリスに行った方が宿泊施設とかの出来、というか利便性は上かもしれん。しかし、旅先での不便も旅行の醍醐味といえれば醍醐味だが、ムムム、どうするか

あ、なんか見付けた

ゐ月#日

野宿とか久しぶりだなー(棒)

お高い所に泊まって見ようと思ったがドレスコードと予約が必要とのことでK E E P O U T。薄汚れた野良犬を見るような目で追い返されるとは。時間も遅く他の宿は見つからなかったよ

しかし、滞在可能日数はまだいくらかあるが、有名所の観光も出来ないとなると早めに帰ることも考えn

◇◇◇

「おっと」

後ろからの衝撃に思わず脳内日記を書くのが止まる

何事かと後ろを振り向くと走り去っていく小さな背中が見えた

もしやと思いポケットを探るもダミーの財布はなくなっていた。前世今世含め（スリ）初体験である、全然嬉しくないわ

とりあえず姿隠しの道具を使い下手人の後を追いかける。どんどん路地裏の奥へと入って行くが、人目が無いのはこちらとしても好都合だ

しかし、眷属探しは建前だったが本当に眷属候補に出会うとは

スリの手際がいいと言えば聞こえは悪いが、事実だとしてもそれは器用さと動きの精密さの証明にもなる。実際にスラれるまで気配を感じさせない隠業も見事だ。大人ですら乗り越えられなさそうな塀を跳び越えてるあたり、無意識だとは思うが魔力で身体強化を施してるのだろう。おまけに勘もいい。どうも姿が見えず物音すら立てずに尾行している俺に気付いてる節がある。いや、これは――

「誘われてる、か？」

人氣が少なくなっていくのはまあいい。迷いなく先へ進むのも土地勘だのを考えればおかしくはない。しかしそれは俺のみを警戒する理由にならない

俺は下手人をその檻褻い服装と街の住人の表情から浮浪児だと判断していた。であればこそ警戒心というのは生きる上で一番必要になるものだ。野犬、大人、違うグルー

プの子供、最悪昨日の仲間すら敵になる可能性のある環境でひとつの対象にだけ警戒を向けるのは、文字通りの意味で命取りになりうる。それでも俺だけを警戒するのは事前
に驚異となりそうな物を排除したか、探知系の能力を持っているか、協力者がいるのか、
一般人や野犬程度なら歯牙にかけない位の實力を持つているかのいずれかだろう

そしてスラムの奥の奥、少し拓けた場所で立ち止まりこちらに向き直る下手人。俺も
少し離れた場所に降り立ち道具で周囲を探索し目の前の人物を精査する……周辺に協
力者と思わしき人影はなし、相手の實力は戦い方次第では下級悪魔、墮天使ならいける
程度、神器持ちで使う事も出来る、と。いやはや、年の割りには結構なことだ

状態だけ考えれば向こうは俺に用があつて、積極的に敵対する意思は無い様に見える。
仮に敵対したとして神器を使った戦闘力は分からないが、まあ、大丈夫だろう（慢
心）

「エスコートありがとうお嬢さん。それで、俺になにか用かな？」

「透明化を解き、目を反らさずに此方を向いていた少女に（胡散臭い）笑みを浮かべ言
う。挨拶は大事だからネ！」



る月#日

眷属候補ゲトー

何でも彼女がリーダーを勤める浮浪児としてのグループが墮天使に襲われたり、怪異に襲われたり、最近仲間になった双子の燃費が悪いらしく食料が足らず空腹に襲われたりと、割りと危機的状況だったらしい。特に最後の

そしてなんか「ティンときた！」らしい俺に助けを求めなるべくあの様な行動に出たらしい。どこぞの芸能事務所の社長か！と思わずツツコミを入れた俺は悪くないと主張したい。当たり前だが件の少女はツツコミの意味が分からず困惑していたが

スられたダミーの財布は普通に返された

正直生意気だつたり反抗的だつたらそれなりの対処はするつもりだったが、地に頭を擦り付けるように懇願されたので彼女自身を担保として他の子を保護する契約をする事となった

そうなることつちも色々準備があるので、他の子供との顔合わせは明日だと約束して別れた

ああ、今日の宿どうしよう

る月下日

魔法で体を清潔にし出入国管理局へ向かう

必要書類を貰ってから市場へ出て食料を買い込み合流場所へ向かう。プレゼントつて子供の警戒心を緩めるのに有効だよな（ゲス顔）

そして件の少女と合流して、更に彼女のグループとも合流したのだが、全員合わせる
と「神器持ち」「墮天使のハーフ」「特殊体質」「龍の因子持ち」「英雄の転生体」と実に
豪華な陣容である。力ある者（物）は力ある者（物）を引き寄せると言うが、こうなる
と俺が彼女達を引き寄せたのではなく、彼女達が俺を引き寄せたんじゃないかと思えて
くる

そう考えると、契約の道具に少女達を保護するメリットデメリットと釣り合うとされ
たリーダーの少女って一体なんなんだろうな（遠い目）

そういえば大食女って言われた双子ってあの子達？へえ、仕立ての良い服着てるね、
元々はいい所の家の子かな？へ？ペンドラゴン!?